

私の町の防災探検をしよう!?



いつ来るかわからない「災害」(地震・火災・大雨など)に対し皆さんは、自分の町が災害に巻き込まれたときのことを考えていますか？

座間市の「ハザード・マップ」を見ながら自分の町を「防災」という目で探検してしてみませんか？ 家族で参加してみてください。

日時: **令和5年8月19日(土曜日)**

受付 09時30分から

第1部 10時から12時(地図を読もう)

昼食 12時から12時50分

第2部 13時から14時20分(町を歩こう)

休憩 14時20分から14時40分

第3部 14時40分から15時10分(まとめ)

会場: 相模が丘コミュニティセンター 大ホール

募集人員: 30名 持ち物・服装: 筆記用具・昼食・飲み物・町歩きができる服装

注意: 熱中症警戒アラートなどの警報が出た場合は、「町歩き」は中止します。

受講料: 無料 家族で参加大歓迎。夏休み自由研究に役立ててください。

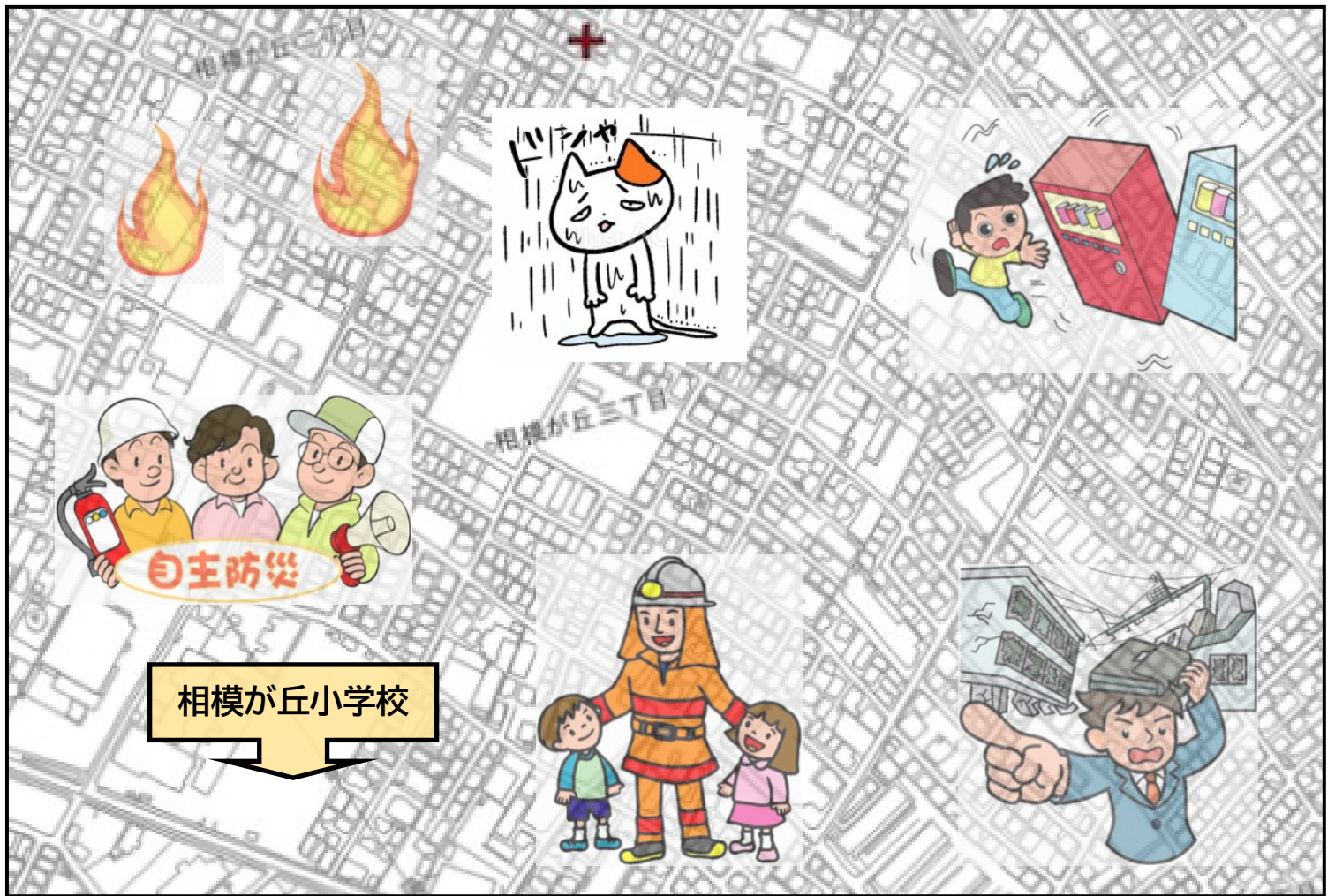
令和5年度 座間市+ZSVNの防災啓発研修会事業②-1

【問い合わせ先】 座間市危機管理課 電話: 046-252-7395

FAX: 046-252-7773

または、NPO法人 ざま災害ボランティアネットワーク

E-MAIL: zama.saigaiVN@gmail.com



高度成長期に急速にベッドタウンとして発展を遂げた「座間市」の人口密度は、横浜、川崎、大和市に次いで県内で4位(7,521人/Km²)です。確かに「町」が栄えることは良いことですが、このように住宅が密集している地域で「災害」が起きたことを考えると不安なこともあります。

「町」が発展していたころは、住んでいる人も若かったので、「町」の安全・安心を維持する力もありました。しかし、高齢化そして少子化が進んだ今ではなかなか厳しい状態も見受けられます。

それでも、私たちにとっては大切な「ふるさと」です。思い出も、友達も、知人もたくさん生活しています。もし、いま「大きな災害が起きたら・・・」ということをおもひで考えてみましょう。

「ハザード・マップ」をもとに、自分の「町」を地図で見て「ここはちょっと危険かな?」「ここは何か?」と感じたことを地図の上に記録して、そのあと、「町歩き」をして気になった場所を写真に撮って、地図の上に落とし込んでみませんか? 実際に見た「現実」をもとにして、万一の時に、「いのち」の安全を確保できる方法を複数考えて、家族、友人、地区の人たちと災害情報として持ち合いませんか?

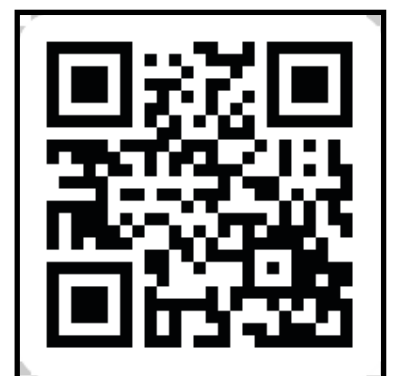
この学びを参考にして被災地の中で、救援活動をしてきた、災害ボランティア活動者が説明をします。

「いのち」は一つです。現実の災害は「ゲーム」ではありません。

座間市とNPO法人ざま災害ボランティアネットワークは協働事業として今年度は、【DIG】というワークショップを相模が丘地区と、四ツ谷地区(9月を予定)で行います。

座間市は、過去の「町」歴史の中から見ても、地震・火災そして水からの災害に備えなければなりません。

2023年は、大正11年9月1日に起きた「関東大震災」から100年を迎えます。この機会に、地域でも「災害」を自分たちのこととして考えてください。



申し込み用QRコード